

# 科目区分：人文・社会科学

授業科目名	経済と経営（経済学入門）					学期	曜日	校時
英語名	Economics and Business (Introduction to Economics)							
担当 教官名	藤田 渉	単位数	2単位	必修 選択	選 択	後期	月曜日	2校時
授 業 の ね ら い ・ 内 容 ・ 方 法								
<p>経済学の初歩的な考え方のいくつかを、線形代数における連立方程式体系の応用例を通して学ぶことを目的とする。ここではマクロ経済学の最初に登場するような基本モデルである、均衡国民所得決定モデルやIS-LMモデルを素材にする。またそのために、線型代数を用いた連立方程式の解法や、経済学の理論展開の基礎などを学ぶ。</p> <p>質問などは基本的に講義時間後に対応しますが、電子メールなどの利用も歓迎します。</p>								
テ キ ス ト 、 教 材 等								
テキスト 参考書	浅利一郎・山下隆之著『はじめよう経済数学』, 日本評論社(2003年) 藤田他著『経済数学』, 勁草書房(2000年)							
対 象 学 生	成 績 評 価 の 方 法					教 官 研 究 室		
全 学 部	最終試験(60%)、3回程度を予定するレポート または講義時間内の小テスト(40%)の配分で 評価する。 いずれも、計算問題を主とする。							
授 業 計 画								
<p>第1部 線形代数の基礎</p> <p>第1回 経済モデルと連立1次方程式                  第2回 行列とベクトル                  第3回 行列の計算                  第4回 連立1次方程式の行列表示                  第5回 行列式                  第6回 余因子行列と逆行列                  第7回 クラームルの公式.</p> <p>第2部 指数計算と乗数</p> <p>第8回 数列, 等差数列と等差数列の和                  第9回 等比数列の和                  第10回 マクロ経済学の応用(乗数理論)                  第11回 マクロ経済学の応用(割引現在価値)</p> <p>第3部 連立一次方程式モデル</p> <p>第12回 「45度線による均衡国民所得」モデル                  第13回 IS-LMモデル(1)                  第14回 IS-LMモデル(2)                  第15回 この先の話し、まとめ</p> <p>理解度によって、進み方は多少変えることがあります。</p>								